

2019（平成31）年度 第1～4回手話通訳士現任研修【基礎研修】および【政見放送】

開催要項

<厚生労働省委託事業>

1. 目的

【基礎研修】

手話通訳士としての必要な知識と技術についての基礎を理解し、司法や福祉等の専門分野についても的確に手話通訳できる技術等を習得することにより、手話通訳者の更なる社会参加に寄与することを目的とする。

【政見放送研修】

手話通訳士に対し、国政選挙・都道府県知事選挙政見放送への手話通訳挿入に向けて選挙等に求められる知識と技術を学ぶ機会を供することにより、政見放送に的確に対応することができる者の確保を目指す。

2. 実施主体

社会福祉法人 全国手話研修センター

3. 内容

●テーマ 「障害者と人権」（選挙）

●時間

【基礎研修】

9：45～10：15 受付・オリエンテーション

10：15～17：30 演習（2時間）+講義（2時間）+実技（2時間）

【政見放送】

9：30～15：30 理論（2時間）+実技（3時間）

15：30～16：00 閉講式

●カリキュラム

【基礎研修】 参政権、権利擁護、模擬通訳（選挙）

【政見放送】 政見放送における手話通訳の理論と実技

●レポート課題

裏面参照

※カリキュラム内容および研修時間は都合により変更となる場合があります。講師等の詳細は決定通知でお知らせいたします。また、研修センターのホームページでも随時お知らせして参ります。

4. 開催日時・会場

第1回	日程	2019（平成31）年6月8日（土）～9日（日）
	会場	アネックスパル法円坂 〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂1丁目1-35

第2回	日程	2019（平成31）年7月19日（金）～20日（土）
	会場	あいち聴覚障害者センター 〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸1丁目7-2
第3回	日程	2019（平成31）年9月15日（日）～16日（月祝）
	会場	岡山国際交流センター 〒700-0026 岡山県岡山市北区奉還町2丁目2-1
第4回	日程	2019（平成31）年11月9日（土）～10日（日）
	会場	石川県社会福祉会館 〒920-0964 石川県金沢市本多町3丁目1-10

※上記の他に1日、自宅研修（レポート課題）がカリキュラムに含まれます。

※会場は都合により変更になる場合があります。必ず受講決定通知にてご確認ください。

5. 定員

30名

6. 研修費用

3,000円

※現地までの交通機関、宿泊は各自にてお早めにご手配していただきますようお願いいたします。

7. 対象者

- ①手話通訳士の資格を有する方
- ②都道府県・政令指定都市・中核市・市町村障害保健福祉主管課長の推薦する手話通訳士の方

8. 申込み条件

3日間のカリキュラムをすべて受講できる方

9. 申込み方法と締切日

締切日

回	申込書締切（自治体宛）	推薦書締切（研修センター宛）
第1回	4月12日（金）	4月22日（月）
第2回	5月31日（金）	6月10日（月）
第3回	7月26日（金）	8月5日（月）
第4回	9月20日（金）	9月30日（月）

受講希望者は、別紙受講申込書を記入し、日頃通訳活動をしている都道府県・政令指定都市・中核市・市町村障害保健福祉主管課あてに、必着でお申込みください。

行政担当者は、センター締切日までに申込書を集約し、推薦書と申込書を送付ください。

※様式はホームページからもダウンロードできます。

10. 受講決定

申込者の中から選考の上、下記の日程で都道府県・政令指定都市・中核市・市町村障害保健福祉主管課及び本人あてに通知します。

- 第1回 4月26日(金) 頃
- 第2回 6月14日(金) 頃
- 第3回 8月9日(金) 頃
- 第4回 10月4日(金) 頃

11. 受講修了条件

3日間のカリキュラムを全て受講した者

12. お支払方法

当日現金払い。

※お振込みを希望される方につきましては、決定通知で詳細をご連絡いたします。

13. お問い合わせ

社会福祉法人全国手話研修センター人材養成課

〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4

TEL : 075-873-2646 / FAX : 075-873-2647 / E-mail : jinzai2@com-sagano.com



<ホームページ>

社会福祉法人全国手話研修センター

(<http://www.com-sagano.com/>)

<2019 年度自宅学習内容>

【基礎研修】 レポート課題

様式は問いません。ページ番号と、すべてのページにレポート作成者の名前を記載すること。課題は印刷し、研修当日にお持ちください。なお、レポートは、研修会で活用します。

次の〈参考文献〉等を読み「聴覚障害者の参政権保障の現状と課題」について次のことについて 1200 字程度でまとめてください。

4 月に行われた統一途方選挙で、知事選、政令市長選、道府県議員選、政令市議員選、市町村首長選、市町村の議員選、が行われました。

みなさんの地域の市町村議員選、道府県議員選を振り返って次のことを記述してください。

- ① 聴覚障害者の参政権は保障されていましたか。保障されていた場合、保障されていた例を具体的に挙げて記述してください。
- ② 保障されていなかった場合、どの部分が保障されていなかったか、具体例を挙げて現状と課題を述べてください。
- ③ ①②を踏まえて、みなさんの地域の聴覚障害者の参政権が保障されるために、手話通訳士としてどのように考え、どのように動いたらいいでしょうか。

〈参考文献〉

川崎和代「障害をもつ人の参政権保障をもとめて」かもがわブックレット(¥600+税)

全国手話研修センター「手話通訳者の学び舎 参政権」(¥1,905+税)

日本手話通訳士協会「政見放送における手話通訳」¥540 (内税)